

# 地方創生 やらまいか通信 vol.4

発行日：平成 27 年 5 月 22 日

## 創生会議「ふくろい部会」の議論もスタート



H27.5.19 第1回創生会議（ふくろい部会）袋井市役所

### 第1回「ふくろい部会」での意見紹介

#### 未来を担う人材をいかに育てるか。 キーワードは「子育て支援」や「教育環境」



- 少子化と晩婚化により、子どもの教育環境を重視する親が増えている。
- 小中学校に、外部の指導者を… 一校一芸を進めるのがいいと思う。
- 通わせたい小学校など、育てたい教育環境が整っているか否かで転出も… 公教育の充実強化は重要かつ急務
- 地域への「愛着」と「関心」は幼少期に培われる。世代間交流が大事。
- 大学と企業をもっと近づける。地域学により地域で活躍・貢献する人材を育成させることが大事。
- 子育てアプリにも世代間交流機能が盛り込まれるといいのでは…
- 若者(特に女性)は、進学や就職の機会に市外に出て行き、戻ってこない。
- 「産みたくなっちゃうまち」づくり子育て支援が目指す方向では…
- 理工科大学の入学者は県内が90%。今後は外から人を呼び込むことも…
- 生きている限り、自分を高める勉強を「生涯学習」の更なる推進を…
- 人間性を高める教育を充実させ、「文化」を発信していくことが大事。

#### 袋井で「育ち」・「学び」・「就職」できるまちに…



- “日本初”商業の県立高等専門学校をこの地につくる。将来を担う若者への期待のメッセージになる。
- 袋井の学校に通いたい。これは「このまちに住んでみたい」と思わせる視点での取組と同じ。
- 自分で自立し、起業する。そのような人を増やすことが大切
- 農業やスポーツも女性ファンが増える元気がでる。応援団の結成を…

## 地域資源を活かし、「ひと」と「ひと」とをいかに繋ぐかが大事

- 外国の教会の前ではマーケットの開催も…  
市内にお寺はたくさんある。  
もっとお寺が活用されれば良いと考える。
- まちに魅力が溢れば自然と人が集まる。  
海外や国内ともに、既存の物であっても見方の違いで注目されることがあることの意識が大事
- 市内にはニッチなものがたくさん存在している。  
また、新たな種を植える場所もまだまだ多い。
- 女子学生にとって「心地良い」環境であるか。  
こんな視点でまちづくりが進めば良いのでは…
- 「住みやすさ」など情報発信をもっとすべきでは…  
住みやすさや働きやすさ、生きがいのあるライフスタイルが送れることをもっと外に発信することが大切。「幸福の指標」などで他と比較するとか。
- 「ふくろい村」をいろいろな都市に…  
市外に出て行き、地元に戻って来ない(来れない)。こんな人たちを繋ぐ場所が「ふくろい村」。  
郷土を想い、交流できるようになるといい。
- 市内には数多く団体があり、「連れ」をつくれる機会と要素がある。これを強みに考えてみては…
- 大学では新しい学科の設置を進めている。  
新たな「ひと」の流れに貢献できれば…

## 将来、このまちはどんな「しごと」で生活をしていくのか

- 将来、袋井市はどの産業で稼いでいくのか。  
現状は、第2次産業と第3次産業が多い。  
今後、稼ぐ中心産業をどのように強化していくのか。ビジョンが必要。
- 地域に根付く「中小企業」を育てること。  
トップ同士が交流し、今ある企業の留置や従業員の定住を図ることが大事。
- 地方創生は起業創業など新しいところに目がいきがち。  
既存企業は他地域へ逃げていくことがあることも直視し、それを維持し、さらに発展していく「起業」・「創業」・「盛業」の視点からの取組も必要。
- 袋井市の観光は、インバウンドよりも「内側に向けて光を発すること」が大事。  
近い人に対して、面白い魅力を発信し続けていくことが観光の命題。



## 全員参加で“まちの賑わい”を呼び起こす

- 75歳までは、元気に働くまちがいいと思う。
- これからの産業の展開として「農工連携」は必須。
- 障がいのある方や都合により働いていない方など  
みんなが元気で働ける社会をつくり、まち全体で生産性を上げることも大切。
- 袋井は「若い世代」が地元に残っているので、  
まだやれることや可能性はたくさんある。  
見方の違いで、より注目される人や仕事などが生まれることを期待できる。
- 地域に住んでいる人が自分たちの会社だと思えるような地元企業との関わり方が大事。
- 重要なのは、誰が実施するか。  
やりたいという動機付けとやりたい人をみんながどう応援するかが大事。すべての源は「意欲」。  
「意欲」のある人は海外に行っても成功している。
- 目的意識のない大卒より、高卒で意欲のある人を採用したい企業が増えている。
- 大学では地元企業で学生が学び、新しい企業を起こすインターンシップを進めている。  
「実務に触発されて育つ」こんな取組を地域全体でもサポートして欲しい。
- ベトナムとのつながりは活かすべき。  
国際的な展開を含め、利他的な人を生み出していくのが良いと思う。外向きにPRを…
- 国産オリーブは需要が高く生産が追いつかない。  
耕作放棄地や茶畑の再生に検討したらどうか。